

ごみ焼却施設 処理フロー(例)

○搬入搬出車両

1. 収集車両

種類	パッカー	キャブオーバー	ダンプ	備考
可燃ごみ	5,700kg	—	—	指定袋
不燃ごみ	5,700kg	—	—	指定袋
粗大ごみ	—	2,000kg	3,800kg	可燃性、不燃性混載
缶類	5,700kg	—	—	指定袋
びん類	—	2,000kg	—	指定袋
ペットボトル	—	2,000kg	—	指定袋
有害ごみ	—	2,000kg	—	透明袋（種類別）
紙類	—	2,000kg	—	紐縛り
白色トレイ	—	2,000kg	—	紐縛り

※表中の数値は積載重量を表す。

2. 一般持込車両

種類	車両
各ごみ	乗用車、軽トラック、平ボディ車、ダンプ車、パッカー車（許可業者）等

3. 薬品、燃料等搬入車両 ※提案による

種類	車両
薬品（消石灰、キレート剤）	10 t タンクローリー車
燃料（灯油、軽油）	5～10 t タンクローリー車

4. 残渣搬出車両

種類	車両
主灰	10 t 天蓋付ダンプ車を予定
飛灰処理物	10 t 天蓋付ダンプ車を予定

5. 場外搬出車両

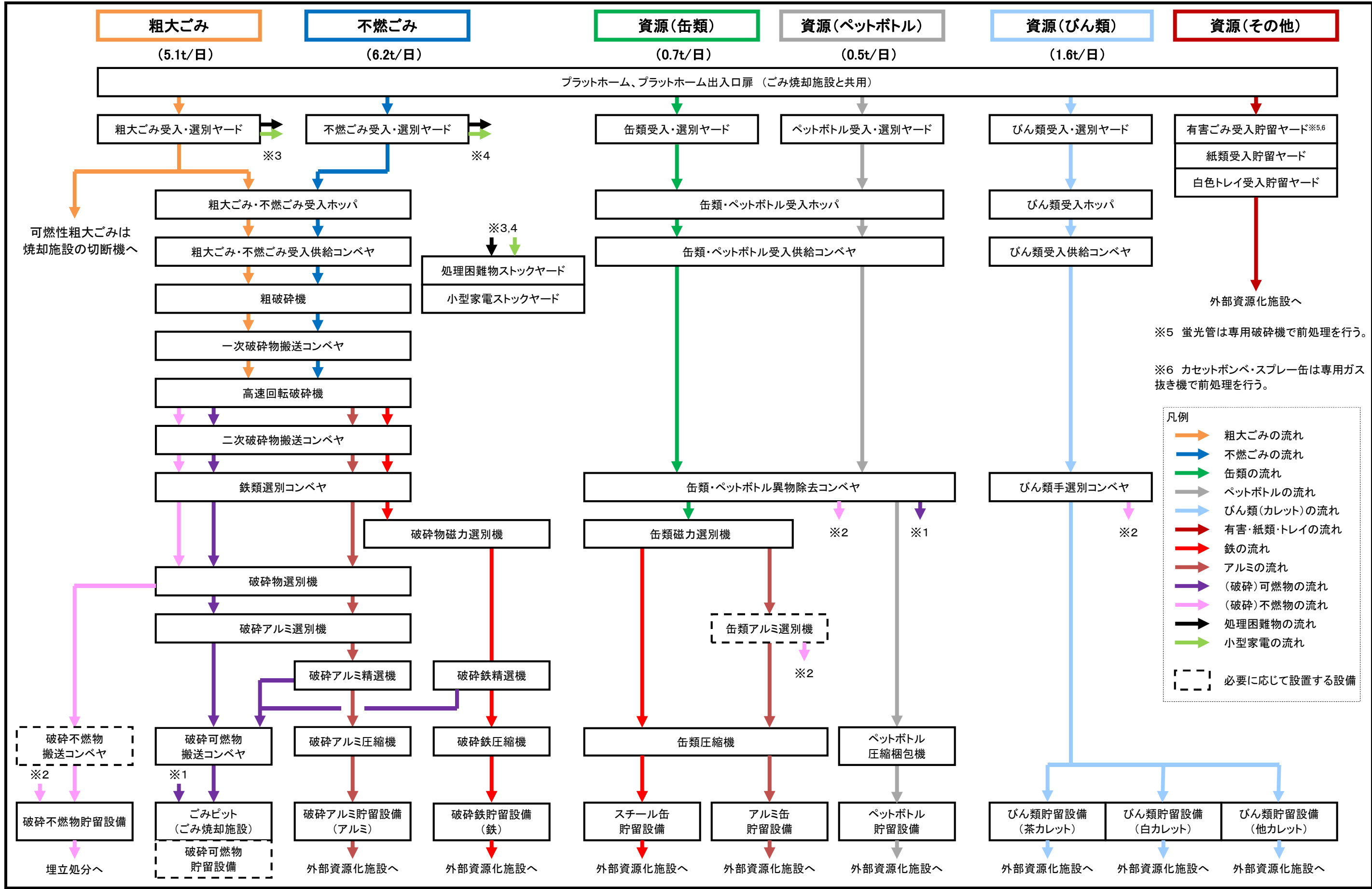
搬出物	搬出形状	搬出形態	搬出頻度	貯留設備容量
破碎設備				
破碎鉄	圧縮成型品	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
破碎アルミ	圧縮成型品	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
破碎不燃物	バラ積み	10 t 天蓋付運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(バンカ)
処理困難物(一時)	品目別にバラ積み	小型運搬車	随時	一時貯留分(ヤード)
小型家電(一時)	品目別にバラ積み	小型運搬車	随時	一時貯留分(ヤード)
選別設備				
スチール缶	圧縮成型品	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
アルミ缶	圧縮成型品	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
ペットボトル	圧縮梱包成型品	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
無色カレット	カレット	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
茶色カレット	カレット	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
他色カレット	カレット	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
保管設備(有害ごみ)				
蛍光管(破碎機処理後)	ドラム缶詰め(密閉)	10 t 運搬車 (JR コンテナ(5t) 2 基搭載可能車)	年 2 回(夏・冬)	10 t 車 1 台分(ヤード)
LED 照明	ドラム缶詰め			
電球	ドラム缶詰め(密閉)			
乾電池・充電電池	フレコンバッグ詰め			
体温計・血圧計	ドラム缶詰め(密閉)			
釣り用の鉛	ヘル缶(10ℓオイル缶)	小型運搬車	3 か月に 1 回	小型車 1 台分(ヤード) ^{※1}
ライター	ガス抜き後袋貯留	小型運搬車	随時	(ごみ焼却施設へ) ^{※2}
カセットボンベ・スプレー缶	穴開け後袋貯留	小型運搬車	随時	(選別設備へ) ^{※3}
保管設備(紙類)				
新聞・チラシ	バラ積み	2 t 平ボディ車	月 2 回(標準)	4 t 車 1 台分(ヤード)
雑誌(のり製本)・雑紙	バラ積み	2 t 平ボディ車	月 2 回(標準)	4 t 車 1 台分(ヤード)
雑誌(金属製本)	バラ積み	2 t 平ボディ車	月 2 回(標準)	4 t 車 1 台分(ヤード)
段ボール	バラ積み	2～3 t 塵芥車	月 2 回(標準)	4 t 車 1 台分(ヤード)
紙バック	バラ積み	2 t 平ボディ車	月 2 回(標準)	4 t 車 1 台分(ヤード)
保管設備(その他)				
白色トレイ	バラ積み(袋詰)	10 t 運搬車(箱車)	月 1 回(標準)	10 t 車 1 台分(ヤード)
処理困難物	品目別にバラ積み	10 t 運搬車	10 t 程度貯留後	10 t 車 1 台分(ヤード)
小型家電	コンテナ積み	4 t コンテナ車 ^{※4}	4 t 程度貯留後	4 t 車 1 台分(ヤード)

※1 釣り用の鉛はむつ資源リサイクル株式会社（むつ市大字奥内字今泉 146-2）への搬出を予定する。

※2 ライターはガス抜き後、一定量貯留したものをごみ焼却施設のごみピットへ投入する。

※3 カセットボンベ・スプレー缶は穴開け後、一定量貯留したものをリサイクルプラザの選別設備に運搬し、缶類圧縮機で圧縮処理を行う。

※4 小型家電の搬出形態はガルウイング付トラック(4t)



リサイクルプラザ 処理フロー(例)